



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月11日

上場会社名 株式会社エプコ 上場取引所 東
 コード番号 2311 URL <http://www.epco.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役グループCEO(氏名) 岩崎 辰之
 問合せ先責任者(役職名) 代表取締役CFO(氏名) 吉原 信一郎 (TEL) 03-6853-9165
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	3,471	10.0	357	21.0	319	△3.4	175	△18.1
2020年12月期第3四半期	3,154	3.6	295	△31.0	330	△22.1	213	△23.9

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 829百万円(319.4%) 2020年12月期第3四半期 197百万円(△17.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	19.64	—
2020年12月期第3四半期	23.98	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	6,062	4,835	79.8
2020年12月期	5,401	4,273	79.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 4,835百万円 2020年12月期 4,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	12.50	—	17.50	30.00
2021年12月期	—	12.50	—		
2021年12月期(予想)				17.50	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,771	8.9	474	7.5	522	12.3	358	△18.1	40.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	9,316,000株	2020年12月期	9,316,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	404,074株	2020年12月期	404,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	8,911,926株	2020年12月期3Q	8,911,945株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. 補足情報	7
(1) 販売の状況(連結)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種率が増加し行動制限の段階的緩和が検討されるなか、一部で景気の持ち直しの動きが見られるものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当社グループが主に関連する住宅産業におきましては、新型コロナウイルス感染に伴う住宅着工への影響は落ち着きを取り戻しつつあり、当第3四半期連結累計期間における住宅着工戸数は前年同四半期比4.7%の増加となりましたが、新型コロナウイルスの感染やウッドショック(世界的な木材供給減少に伴う木材価格の高騰)等が今後の住宅着工に与える影響については、引き続き注視していく必要があると認識しております。

当社グループは、このような外部環境の変化を新たな成長市場の創出機会と捉えて、今年2月に中期経営計画(2021年~2025年)を発表し、住宅ライフサイクル全体(設計から工事、アフターメンテナンスまで)の最適化を実現するために、各事業においてデジタル技術を活用した新サービスの立ち上げ準備・先行投資及び業務効率化を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,471百万円(前年同四半期比10.0%増)、営業利益357百万円(前年同四半期比21.0%増)、経常利益319百万円(前年同四半期比3.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益175百万円(前年同四半期比18.1%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① D-TECH事業

当第3四半期連結累計期間は、設備設計分野においては住宅着工の回復基調が続き売上が増加したものの、建築設計分野においては一部得意先からの受託減少が継続し売上が減少したことで、売上高は1,699百万円(前年同四半期比1.7%増)となりました。一方、東京・沖縄・中国(シンセン・吉林)の各拠点におけるデジタル技術を活用した業務のDX化の効果が発現し、営業費用(主に人件費)が減少した結果、営業利益は409百万円(前年同四半期比22.9%増)となりました。

② H-M事業

当第3四半期連結累計期間は、引き続き既存得意先における預かり顧客数及び受電件数が堅調に増加したことによりインバウンドサービスの売上が増加した結果、売上高は989百万円(前年同四半期比9.6%増)となりました。一方で、メンテナンス業務全体の効率化を目的とした新サービス(CRMクラウドサービス)の立上げに向けた投資(主に開発関連の人件費)を継続した結果、営業利益は222百万円(前年同四半期比6.0%減)となりました。

③ E-Saving事業

2020年3月に省エネ設備(太陽光発電システム、蓄電池等)工事請負を主な事業内容とする株式会社ENE's(旧・システムハウスエンジニアリング株式会社)を連結子会社としたことに伴い、前第2四半期より報告セグメント「E-Saving事業」を追加しております。

当第3四半期連結累計期間は、大型の太陽光発電システム工事が竣工したことにより売上高は559百万円(前年同四半期比78.8%増)、営業利益は12百万円(前年同四半期は営業損失2百万円)となりました。

④ システム開発事業

2020年10月にENESAP事業をSBパワー株式会社に対して事業譲渡したことに伴い、システム利用料売上が減少したことから、売上高は223百万円(前年同四半期比16.9%減)、営業損失は34百万円(前年同四半期は営業損失14百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、2,350百万円となりました。これは、主として現金及び預金が265百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて27.1%増加し、3,711百万円となりました。これは、主として保有株式の時価の変動により投資有価証券が897百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、12.2%増加し、6,062百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて37.4%減少し、378百万円となりました。これは主として、未払法人税等が139百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて61.8%増加し、848百万円となりました。これは主として保有株式の時価の変動により繰延税金負債が322百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べて8.7%増加し、1,226百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて13.1%増加し、4,835百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益175百万円を計上し、その他有価証券評価差額金が587百万円増加した一方で、配当金の支払267百万円が発生したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日付の「2020年12月期 決算短信 [日本基準] (連結)」により公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,641,527	1,376,190
受取手形及び売掛金	626,247	647,857
仕掛品	96,839	121,237
その他	117,744	210,664
貸倒引当金	△1,137	△5,369
流動資産合計	2,481,221	2,350,581
固定資産		
有形固定資産	537,926	492,896
無形固定資産	196,818	161,595
投資その他の資産		
投資有価証券	1,470,000	2,367,000
関係会社株式	310,713	246,015
関係会社出資金	183,828	219,999
繰延税金資産	21,853	27,622
その他	199,496	196,339
投資その他の資産合計	2,185,892	3,056,976
固定資産合計	2,920,637	3,711,467
資産合計	5,401,859	6,062,049
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,696	46,128
未払法人税等	163,996	24,968
賞与引当金	29,014	59,822
株主優待引当金	1,580	—
その他	369,838	247,378
流動負債合計	604,127	378,298
固定負債		
退職給付に係る負債	31,533	33,564
長期末払金	11,360	11,360
繰延税金負債	481,255	803,463
その他	124	16
固定負債合計	524,273	848,405
負債合計	1,128,400	1,226,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	87,232	87,232
資本剰余金	118,032	118,032
利益剰余金	3,188,966	3,096,638
自己株式	△202,894	△202,894
株主資本合計	3,191,336	3,099,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	950,441	1,538,404
繰延ヘッジ損益	△1,105	2,048
為替換算調整勘定	132,785	195,883
その他の包括利益累計額合計	1,082,121	1,736,336
純資産合計	4,273,458	4,835,345
負債純資産合計	5,401,859	6,062,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	3,154,903	3,471,460
売上原価	2,091,257	2,357,604
売上総利益	1,063,645	1,113,856
販売費及び一般管理費	768,463	756,777
営業利益	295,182	357,078
営業外収益		
受取利息	680	584
持分法による投資利益	28,621	—
為替差益	—	4,304
補助金収入	—	2,225
その他	11,410	864
営業外収益合計	40,712	7,979
営業外費用		
持分法による投資損失	—	45,467
為替差損	5,114	—
その他	34	—
営業外費用合計	5,149	45,467
経常利益	330,745	319,590
特別損失		
固定資産除売却損	1,236	2,446
特別損失合計	1,236	2,446
税金等調整前四半期純利益	329,509	317,144
法人税、住民税及び事業税	95,802	136,369
法人税等調整額	19,972	5,744
法人税等合計	115,775	142,114
四半期純利益	213,733	175,029
親会社株主に帰属する四半期純利益	213,733	175,029

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	213,733	175,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	587,962
繰延ヘッジ損益	—	3,154
為替換算調整勘定	△17,634	52,706
持分法適用会社に対する持分相当額	1,600	10,391
その他の包括利益合計	△16,034	654,215
四半期包括利益	197,699	829,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,699	829,245
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	D-TECH	H-M	E-Saving	システム開発	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,671,026	902,175	312,857	268,843	3,154,903	—	3,154,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,671,026	902,175	312,857	268,843	3,154,903	—	3,154,903
セグメント利益又は損失(△)	333,311	236,198	△2,973	△14,875	551,660	△256,478	295,182

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△256,478千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	D-TECH	H-M	E-Saving	システム開発	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,699,531	989,081	559,536	223,312	3,471,460	—	3,471,460
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,699,531	989,081	559,536	223,312	3,471,460	—	3,471,460
セグメント利益又は損失(△)	409,742	222,141	12,055	△34,239	609,700	△252,622	357,078

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△252,622千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況 (連結)

(単位：千円)

セグメントの名称		前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	
		金額	構成比	金額	構成比
D-TECH	設備設計 (給排水・電気)	1,274,253	40.4%	1,395,537	40.2%
	建築設計	302,579	9.6%	207,175	6.0%
	エネルギー設計	94,193	3.0%	96,818	2.8%
	小計	1,671,026	53.0%	1,699,531	49.0%
H-M		902,175	28.6%	989,081	28.5%
E-Saving		312,857	9.9%	559,536	16.1%
システム開発		268,843	8.5%	223,312	6.4%
合計		3,154,903	100.0%	3,471,460	100.0%